授業科目名・形態	看護過程論　　演習	必修・選択の別	必修	単位数	2
科目担当者氏名	黒澤　繭子・小畑　千春	実務経験の有無	有	開講期	2年前期･後期
科目ナンバリング	N4-2008npmht				

【授業の主題】

看護過程は、様々な対象の、様々なニーズに対応し、その人らしく生活できるように支援するための目的や機能を持った看護を具体的に実践するための手段・方法論である。この授業では、効果的な看護活動を展開するための系統的な問題解決技法である看護過程を展開する方法を学ぶ。

【到達目標】

1. 看護過程を展開するための基礎的な知識とその方法、一連の流れを理解できる
2. 紙上事例を用いた看護過程を展開し、情報収集から看護計画の立案までを行うことができる
3. 看護記録の方法を理解できる
4. ケーススタディを行うためのケースレポートが作成できる

【授業計画・内容】

第1回　看護過程とは　(黒澤)
第2回　看護過程の概要と構造　(黒澤)
第3回　ｱｾｽﾒﾝﾄのための情報収集　(黒澤)
第4回　情報収集（ｱｾｽﾒﾝﾄ）(1)　(黒澤)
第5回　情報収集（ｱｾｽﾒﾝﾄ）(2)　(黒澤)
第6回　情報収集（ｱｾｽﾒﾝﾄ）(3)　(黒澤)
第7回　看護診断・共同問題　(黒澤)
第8回　事例演習：看護診断　(黒澤)
第9回　情報の解釈　(黒澤)
第10回　事例演習：情報の解釈　(黒澤)
第11回　全体像の把握・関連図　(黒澤)
第12回　事例演習：関連図　(黒澤)
第13回　看護診断の優先順位　(黒澤)
第14回　計画立案(1)看護診断の書き方　(黒澤)
第15回　計画立案(2)目標、計画　(黒澤)
第16回　事例演習：計画　(黒澤)
第17回　計画立案(3)具体的な計画　(黒澤)
第18回　実施、記録、評価、修正　(黒澤)
第19回　電子ｶﾙﾃｼｽﾃﾑとｸﾘﾃｨｶﾙ・ﾊﾟｽ　(黒澤)
第20回　看護記録とは　(小畑)
第21回　ｹｰｽｽﾀﾃﾞｨを行うためのｹｰｽﾚﾎﾟｰﾄの書き方　(黒澤)
第22回　看護過程の評価　ｹｰｽﾚﾎﾟｰﾄ作成(1)　(黒澤)
第23回　ｹｰｽﾚﾎﾟｰﾄ作成(2)　(黒澤)
第24回　ｹｰｽﾚﾎﾟｰﾄ作成(3)　(黒澤)
第25回　ｹｰｽﾚﾎﾟｰﾄ発表・検討会(1)準備　(黒澤)
第26回　ｹｰｽﾚﾎﾟｰﾄ発表・検討会(2)準備　(黒澤)
第27回　看護記録(1)　(小畑)
第28回　看護記録(2)・看護必要度とは　(小畑)
第29回　ｹｰｽﾚﾎﾟｰﾄ発表・検討会(3)発表　(黒澤、小畑)
第30回　ｹｰｽﾚﾎﾟｰﾄ発表・検討会(4)発表　(黒澤、小畑)

【授業実施方法】

第12回関連図作成、第25・26回ケースレポート発表会のためのグループワークを実施する。第29・30回はプレゼンテーションを実施する。

【事前・事後学習】

課題学習、試験対策、レポート作成等を含め計30時間程度の自主学習を行う。

【主な関連する科目】

看護学概論、基礎看護技術論Ⅰ・Ⅱ、基礎看護技術演習Ⅰ・Ⅱ、各看護学方法論

【教科書等】

石川ふみよ編著：看護過程の解体新書 第1版、Gakken、2015.
ﾘﾝﾀﾞ J.ｶﾙﾍﾟﾆｰﾄｰﾓｲｴ著、黒江ゆり子監訳：看護診断ハンドブック 第12版、医学書院、2023.
任和子監修：疾患別看護過程ポケットブック、メディカル・ケア・サービス、2024.

【参考文献】

上野栄一、西田直子編：看護診断の看護過程ガイドゴードンの機能的健康パターンに基づくアセスメント、中央法規、2022.
石川ふみよ編著：実習記録・看護計画の解体新書、学研、2017.
ﾛｻﾞﾘﾝﾀﾞ・ｱﾙﾌｧﾛｰﾙﾌｨｰｳﾞｧ著、本郷久美子監訳：基本から学ぶ看護過程と看護診断 第7版、医学書院、2012.
井上智子、窪田哲朗編：病期・病態・重症度からみた疾患別看護過程+病態関連図　第4版、医学書院、2020.
T.ヘザー・ハードマン(編)、上鶴 重美(訳)：NANDA-I 看護診断 定義と分類 2021-2023 原書第12版、医学書院、2021.

【成績評価方法】

定期試験40%、ケースレポート40%、課題提出10%、授業への取り組み姿勢10%により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

総合病院での臨床看護の経験がある。看護の基礎として重要な知識や技術を習得する上で、具体例など交えることで応用できる考え方を促していきたい。

【学生へのメッセージ】

看護過程は看護実践を効果的に行っていくために必須となります。この授業で学んだことを基礎とし、ほぼすべての臨地実習でこの方法を用いた看護展開を行っていきます。